

星野学園小学校新聞

星野学園小学校
埼玉県川越市上寺山 216-1
〒350-0826 TEL.049(227)5588
星野学園小学校
Web
www.hoshinogakuen.ed.jp/hes/

星野っ子夏の成長

星野学園小学校は一年生から宿泊学習があり、行事の豊富さが特徴である。今回は、子どもたちが楽しみにしている行事の一つ、夏の学校を紹介する。一、三年生の夏の学校の魅力、また宿泊学習を通して成長する子どもたちの姿を伝える。(小玉)



最高の青空の下、富士山の魅力を満喫!

六月十六日(金)。「空気がおいしい!」と喜んでいた。案内した二年生、三年生の夏の学校が行われた。場所を熟知したインスタは富士山の大自然を感じられる河口湖で、雄大な自然を感じ、人間関係を深めるとともに、先を見据えたい行動ができるよう、学年を超えて協力し合っている。富士山の噴火で流れた溶岩による。二年生は、富士山の麓にある樹海を散策し、洞窟を探検する。富士の樹海に一步足を踏み入れると木漏れ日とそよ風が心地よく、子どもたちは

「空気がおいしい!」と非常に興奮し、「次にどんなものが見られるだろう。」とわくわくしながら散策していた。洞窟探検では、入ったときの涼しさに「冷蔵庫みたい!」と外との気温差を肌で感じていた。真つ暗で音のしない洞窟に不安で、泣き出す子もいたが、「洞窟の中はどうなっているの?」と好奇心で懐中電灯片手にどんどん先に進む子に励まされ、笑顔で洞窟を出ることができた。全員が新しいことへ果敢にチャレンジし、

充実感に満ちていた。

三年生は、夏の富士山でトレッキングをする。二時間弱のトレッキングは子どもたちの小さな体では楽なものではない。ある男の子は体力が追い付かずとても辛そうにしていて、クラスの仲間が「一緒に頑張ろう!」と一生懸命に励ましてくれた。彼は泣きながら歩いてはたのだが、涙の理由は辛いからではなく、仲間が懸命に励ましてくれたことがとても嬉しかったからだ。教えてくれた仲間同士で励まし合いながら一生懸命歩き続け

る姿は、とても立派なものだった。子どもたちの頑張りに応えるように、爽やかな晴天となり、見事な富士山の景観を堪能できた。子どもたちも口々に「きれい!」と感動した様子であった。笑顔もとても晴れやかで、歩ききった大きな達成感を感じ、トレッキングを心から楽しめたことが覗えた。

旅館では、二年生と三年生が同じ部屋で生活する。三年生は、先輩として様々な面で後輩を助ける。食事の際にはお茶を入れてあげたり、部屋での布団決めでは先輩に好きな場所をゆずってあげたり、また、親元を離れて心細くなっている



異学年交流も、宿泊行事の醍醐味。

子には眠れるまで優しく声をかけてあげたり、頼もしい姿が多く見られた。昨年度も河口湖での宿泊学習を体験している後輩たちに頼られると自信を持つことができた。二年生も三年生に頼るだけではなく、空いている時間に活動の振り返りや友だちの良いところをしおりやカードに書き込み、自分たちで考え、落ち着いて行動できていた。三年生も二年生も周りを考えて行動する力が少しずつ身に付いているように感じる。

七月五日(水)・六日(木)に、一年生の夏が学校が行われた。前日から、子どもたちの「夏の学校だ!早く明日にならないかな!」と話している姿が印象的であった。当日、一年生全員の元気な声が響いた。夏の学校は恒例の大きなケーキから始まり、おなかいっぱいになった後は、ES部と英語部の高校生との交流が行われた。子どもたちは、高校生に楽しそうにたくさん話しかけていた。高校生との交流後には、チーム対抗でゲームを行い、たくさん体を動かした。そして、夜になると、皆が何よりも楽しみにしている花火だ。その日は風が強かったが、なかなか火が着かないことが面白かったという子がいる。皆で盛り上がった。また、就寝前の布団の準備の際も、どの子も楽しんで、自分たちだけでできたという達成感を感じていた。

二日間は、朝一番で末広キャンパス(星野高校女子部の校舎)に探検に行き、高校生気分を味わった。「高校生ってかっこいいな」と憧れを抱いたようであり、朝からウキウキしていた。二日間、「自分のことは自分でする」という学年目標を達成した子どもたちは自信に満ちていた。保護者の方からは「初めてのことがばかりで不安だったが、笑顔で帰ってきた子どもを見て、成長を感じ嬉しく思う。」といったお声をいただいた。

旅館では、二年生と三年生が同じ部屋で生活する。三年生は、先輩として様々な面で後輩を助ける。食事の際にはお茶を入れてあげたり、部屋での布団決めでは先輩に好きな場所をゆずってあげたり、また、親元を離れて心細くなっている

夏が学校での自然体験学習や異学年交流を通して、一人ひとりが自らの力で、また仲間たちと手をとり合って成長することができた。今後もしの自立を目指し、学校生活においても自分で考え、仲間と協力し、助け合うことを大切にしていきたい。

七月五日(水)・六日(木)に、一年生の夏が学校が行われた。前日から、子どもたちの「夏の学校だ!早く明日にならないかな!」と話している姿が印象的であった。当日、一年生全員の元気な声が響いた。夏の学校は恒例の大きなケーキから始まり、おなかいっぱいになった後は、ES部と英語部の高校生との交流が行われた。子どもたちは、高校生に楽しそうにたくさん話しかけていた。高校生との交流後には、チーム対抗でゲームを行い、たくさん体を動かした。そして、夜になると、皆が何よりも楽しみにしている花火だ。その日は風が強かったが、なかなか火が着かないことが面白かったという子がいる。皆で盛り上がった。また、就寝前の布団の準備の際も、どの子も楽しんで、自分たちだけでできたという達成感を感じていた。

二日間は、朝一番で末広キャンパス(星野高校女子部の校舎)に探検に行き、高校生気分を味わった。「高校生ってかっこいいな」と憧れを抱いたようであり、朝からウキウキしていた。二日間、「自分のことは自分でする」という学年目標を達成した子どもたちは自信に満ちていた。保護者の方からは「初めてのことがばかりで不安だったが、笑顔で帰ってきた子どもを見て、成長を感じ嬉しく思う。」といったお声をいただいた。

二日間は、朝一番で末広キャンパス(星野高校女子部の校舎)に探検に行き、高校生気分を味わった。「高校生ってかっこいいな」と憧れを抱いたようであり、朝からウキウキしていた。二日間、「自分のことは自分でする」という学年目標を達成した子どもたちは自信に満ちていた。保護者の方からは「初めてのことがばかりで不安だったが、笑顔で帰ってきた子どもを見て、成長を感じ嬉しく思う。」といったお声をいただいた。



漆黒の世界に大興奮!

二日間は、朝一番で末広キャンパス(星野高校女子部の校舎)に探検に行き、高校生気分を味わった。「高校生ってかっこいいな」と憧れを抱いたようであり、朝からウキウキしていた。二日間、「自分のことは自分でする」という学年目標を達成した子どもたちは自信に満ちていた。保護者の方からは「初めてのことがばかりで不安だったが、笑顔で帰ってきた子どもを見て、成長を感じ嬉しく思う。」といったお声をいただいた。

二日間は、朝一番で末広キャンパス(星野高校女子部の校舎)に探検に行き、高校生気分を味わった。「高校生ってかっこいいな」と憧れを抱いたようであり、朝からウキウキしていた。二日間、「自分のことは自分でする」という学年目標を達成した子どもたちは自信に満ちていた。保護者の方からは「初めてのことがばかりで不安だったが、笑顔で帰ってきた子どもを見て、成長を感じ嬉しく思う。」といったお声をいただいた。

二日間は、朝一番で末広キャンパス(星野高校女子部の校舎)に探検に行き、高校生気分を味わった。「高校生ってかっこいいな」と憧れを抱いたようであり、朝からウキウキしていた。二日間、「自分のことは自分でする」という学年目標を達成した子どもたちは自信に満ちていた。保護者の方からは「初めてのことがばかりで不安だったが、笑顔で帰ってきた子どもを見て、成長を感じ嬉しく思う。」といったお声をいただいた。



自分たちで布団敷き。自立への第一歩。

情操教育と星野っ子

芸術鑑賞会

七月十二日(水)星野記念講堂ハーモニホールにて、芸術鑑賞会が開催された。昨年に続き、青島広志先生とシアターオーケストラ トーキョーの皆様にお越しいただいた。青島先生が昨年子どもたちの鑑賞の様子をお褒めくださり、再び演奏を拝聴する機会に恵まれた。

この日も、青島先生は意気揚々と舞台上に登場された。子どもたちが拍手をする間もなく、音楽が鳴り響いた。ビゼー作曲『カルメン』より「前奏曲」である。耳なじみある楽曲に歓声が上がリ、



「4羽の白鳥」を踊るKバレエダンサーの皆さん。

子どもたちはすぐさま音楽の世界に引き込まれていった。2曲目はバレエ音楽の代表曲とも言える、チャイコフスキー作曲『白鳥の湖』。音楽に合わせて4名のダンサーが登場し、「4羽の白鳥の踊り」を披露してくださいました。白い羽根を纏った4羽の白鳥が、一糸乱れぬ美しさで舞う姿に、観客は皆、息をのむほどだった。3曲目の『眠れる森の美女』より「ワルツ」では、観客も音楽に合わせてダンスに合せてダンスに青島先生の巧みなご指導で、子どもたちは立ち上がり、隣の席の友だちと手を取り合

い、音楽に合わせてワルツのステップを踏んだ。次の曲目は、アンダーソン作曲『猫のワルツ』。猫が、すぐそこで鳴いているかのような可愛らしい曲だ。コンサートも後半。昨年の「花のワルツ」に続き、今年『くる

み割り人形』より「行器が紡ぎだす音色に進曲」、「ロシア人形(トレパック)」、「中国人形(お茶の精)」を演奏してくださいました。『くるみ割り人形』の背景についても、青島先生が軽快にお話ししてくださいました。演奏が始まりました。お茶の精に扮したダンサー2人が、チャイナ服のような衣装でユニークな振り付けを披露してくださいました。舞台晴らしい公演を児童もたちは身を乗り出すようにして鑑賞し、魅了されていました。次の楽曲は一転、柔らかさが漂うフランスのバレエ音楽。ドリーブの『コペリア』より「ワルツ」と「マズルカ」が豊かさがあふれる。この貴演奏された。先ほどと重なる体験を糧として、は対照的な音色に、音子は子どもたちには、より楽の奥深さや、広がりを感じられ、それぞれさらに深めてもらいたい。



水をこぼさないように、水の中を歩く競技。

場となった。いよいよ、コンサートも佳境。締めくくりにふさわしく、『白鳥の湖』より「フィナーレ」で幕を閉じる。音楽に耳を傾けながら、物語の世界を想像し、様々な楽

み割り人形』より「行器が紡ぎだす音色に進曲」、「ロシア人形(トレパック)」、「中国人形(お茶の精)」を演奏してくださいました。『くるみ割り人形』の背景についても、青島先生が軽快にお話ししてくださいました。演奏が始まりました。お茶の精に扮したダンサー2人が、チャイナ服のような衣装でユニークな振り付けを披露してくださいました。舞台晴らしい公演を児童もたちは身を乗り出すようにして鑑賞し、魅了されていました。次の楽曲は一転、柔らかさが漂うフランスのバレエ音楽。ドリーブの『コペリア』より「ワルツ」と「マズルカ」が豊かさがあふれる。この貴演奏された。先ほどと重なる体験を糧として、は対照的な音色に、音子は子どもたちには、より楽の奥深さや、広がりを感じられ、それぞれさらに深めてもらいたい。

水泳大会 水泳教室

六月三十日(金)から七月十日(月)にかけて、一年生から四年生の各クラスで水泳大会が開催された。水泳大会では、競技ごとに得点をつけ、チームで総合得点を競い合います。各学年の発達段階に応じた技術の向上を目的とした大会である。どのチームも優勝を目指して元気がっぱいに取り組んだ。

水泳の技術はもろること、安全第一に水泳を行うための振る舞い方も身に付けていく。本校では人命尊重を第一とし、プールの安全な使用を徹底している。また、体調管理に関しても、

三年生では、授業で取り組んできたもののびや、道具を使った宝物さがしなどの競技を行った。自分が泳ぐ順番になると子どもたちはみな張り切り

子どもたちはすぐさま音楽の世界に引き込まれていった。2曲目はバレエ音楽の代表曲とも言える、チャイコフスキー作曲『白鳥の湖』。音楽に合わせて4名のダンサーが登場し、「4羽の白鳥の踊り」を披露してくださいました。白い羽根を纏った4羽の白鳥が、一糸乱れぬ美しさで舞う姿に、観客は皆、息をのむほどだった。3曲目の『眠れる森の美女』より「ワルツ」では、観客も音楽に合わせてダンスに合せてダンスに青島先生の巧みなご指導で、子どもたちは立ち上がり、隣の席の友だちと手を取り合

い、音楽に合わせてワルツのステップを踏んだ。次の曲目は、アンダーソン作曲『猫のワルツ』。猫が、すぐそこで鳴いているかのような可愛らしい曲だ。コンサートも後半。昨年の「花のワルツ」に続き、今年『くるみ

み割り人形』より「行器が紡ぎだす音色に進曲」、「ロシア人形(トレパック)」、「中国人形(お茶の精)」を演奏してくださいました。『くるみ割り人形』の背景についても、青島先生が軽快にお話ししてくださいました。演奏が始まりました。お茶の精に扮したダンサー2人が、チャイナ服のような衣装でユニークな振り付けを披露してくださいました。舞台晴らしい公演を児童もたちは身を乗り出すようにして鑑賞し、魅了されていました。次の楽曲は一転、柔らかさが漂うフランスのバレエ音楽。ドリーブの『コペリア』より「ワルツ」と「マズルカ」が豊かさがあふれる。この貴演奏された。先ほどと重なる体験を糧として、は対照的な音色に、音子は子どもたちには、より楽の奥深さや、広がりを感じられ、それぞれさらに深めてもらいたい。

水泳大会 水泳教室

六月三十日(金)から七月十日(月)にかけて、一年生から四年生の各クラスで水泳大会が開催された。水泳大会では、競技ごとに得点をつけ、チームで総合得点を競い合います。各学年の発達段階に応じた技術の向上を目的とした大会である。どのチームも優勝を目指して元気がっぱいに取り組んだ。

水泳の技術はもろること、安全第一に水泳を行うための振る舞い方も身に付けていく。本校では人命尊重を第一とし、プールの安全な使用を徹底している。また、体調管理に関しても、

三年生では、授業で取り組んできたもののびや、道具を使った宝物さがしなどの競技を行った。自分が泳ぐ順番になると子どもたちはみな張り切り

水泳大会では一学期のポーツマンシップに則って競い合おう楽しさを実感したようだった。

水泳大会では一学期の授業の成果を発揮した。しかしそこで終わりでなく、夏休み間では、今年度最後の水泳とあって、どの子どもも水泳を楽しむ姿が見られた。最終日の自由時間では、今年度最後の水泳とあって、どの子どもも水泳を楽しむ姿が見られた。最終日の自由時間では、今年度最後の水泳とあって、どの子どもも水泳を楽しむ姿が見られた。

自由時間に全力で楽しむ子どもたち。



ワルツのリズムで踊る子どもたち。



自由時間に全力で楽しむ子どもたち。

(海野)

(大野)